

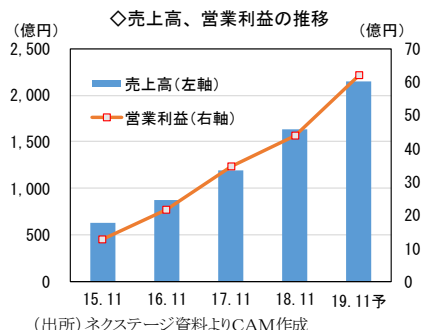
企業ニュース ネクステージ

(東証1部 : 3186) [https:// www.nextage.co.jp/](https://www.nextage.co.jp/)

作成者: 奥村義弘

愛知県を地盤とする中古車販売の大手

1998年設立。愛知県を地盤とする中古車販売の大手だが、全国への出店を加速している。新規出店やM&Aに積極的で輸入車の正規ディーラーも手掛けている。新車の乗り換え年数の長期化に対応した店舗でのワンストップサービス（買取り、車検、整備、点検、保険、カーコーティング）に力を入れている。在庫の仕入れから顧客への納車までリードタイムの分割管理による利益の最大化・価格還元を図っている。2030年ビジョンでは、売上高1兆円を目標に掲げる。19. 11期・第3四半期累計（12-8月）の地域別売上高構成比は北海道東北9%（拠点数7）、関東甲信越25%（同19）、東海北陸39%（同33）、関西17%（同13）、九州沖縄10%（同7）。



積極展開で大幅増収、利益率の向上も好感できる

19. 11期・第3四半期累計（12-8月）の連結業績は売上高が1,611億円、前年同期比37%増、営業利益が49億円、同58%増。第3四半期は景気の停滞により、中古車市場はほぼ横ばい圏で推移したが、当社は7月に大阪府堺市に輸入車専門店「UNIVERSE堺」をオープン、総合店（あらゆるサービスをワンストップで受けられる）「岡崎美合店」「富士店」を移転・大型化し、8月には総合店「松阪店」をオープンした。また既存店に併設して買取り専門店を4店舗出店するとともに、買取り店の単独店2店をオープンした。利益面では整備、買取り事業の拡大及び1台当たりの利益の改善で売上高総利益率は17. 35%と前年同期比0. 84ポイント改善した。

19. 11期通期の会社計画は、売上高が2,150億円、前期比32%増、営業利益が62億円、同41%増。第2四半期時点の計画を営業利益で5億円上方修正した。業績の上方修正は、自動車の整備事業、買取り事業の拡大及び車両1台当たりの利益が改善したことによる。第4四半期は消費税率引き上げ後の反動減には注意したいが、過度な懸念は不要と考える。今期は生涯取引の獲得のため大型店の拡大に力を入れている。また販売増や整備収益の拡大に向けて新車ディーラーの強化を図っており、幅広い客層の取り込みが期待できよう。

[株価動向・投資判断]

成長性の高さが魅力。利益率の改善も安心感をもたらしている。

<3186 ネクステージ 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17. 11	118,971 (36)	3,474 (61)	3,304 (58)	2,262 (70)	38.3	6.00
18. 11	163,174 (37)	4,384 (26)	4,186 (27)	2,910 (29)	42.3	4.00
19. 11 予	215,000 (32)	6,200 (41)	5,900 (41)	4,100 (41)	56.7	4.00

(注) 17年4月1日付で普通株式1株を2株に分割、同年12月1日付で普通株式1株を3株に分割。17.11期の1株利益は当該株式分割調整後の数値。



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2019/10/11)	1,040 円
年初来高値 (高値日)	1,331 円 (19/1/18)
同 安値 (安値日)	896 円 (19/2/8)
予想 P E R (19. 11 予)	19. 1 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	358. 9 円
P B R	2. 90 倍
予想配当利回り	0. 38 %
(1株当たり配当金4. 00円)	
R O E (18. 11)	17. 6 %
発行済み株式数	7,530 万株